

## 巡回型サテライト・オフィスの概要

北海道教育大学函館校 地域協働推進センター

社会協働部門 有井晴香

### 【1】巡回型サテライト・オフィスとは

2018年より開始した巡回型サテライト・オフィス（以下「巡回SC」）事業は、今年、5年目の節目を迎えました。巡回SC事業では、道南地域の市町および北海道渡島・檜山両振興局を訪問して意見交換の場を設け、地域課題・ニーズの把握に努めています。3年をかけて、道南に位置するすべての市町との意見交換が実現し、昨年度より2巡目に入りました。2022年度は、七飯町、長万部町、檜山振興局、福島町、渡島総合振興局の5か所をまわり、昨年度に引き続き「観光」および「教育」分野に焦点をあて、地域の課題やニーズについての意見交換をおこないました。

巡回SCは二部構成にて実施しており、会の前半では、大学から、函館校の地域協働活動の具体的な取り組み事例および教職大学院における人材育成について、附属函館中学校からICTを活用した遠隔授業や教員研修について紹介があります。また、地域協働に関わる実習科目を履修した学生からも報告をおこないます。会の後半では、地域の現状や課題について情報交換がおこなわれ、時間が足りなくなるほど活発に意見が交わされます。コロナ禍の終息が依然としてみられないなかでも、各地域に直接、訪問することができ、充実したものとなりました。

### 【2】巡回SCの意義

それぞれの地域ごとに、特色ある取り組みなどがご紹介されたなかで、共通した課題としてあげられたものとして、コロナ禍の影響および少子高齢化への対応があります。いかに地域の人材を育てるか、いかに地域に人を呼び込むか、という点は大きな課題であるとともに、地方大学に期待される役割でもあります。地域に資する優れた人材を育てていくことは、地域のみなさまとの連携なしには実現できません。

各会の実施後には、アンケートにご協力いただき、参加者のみなさまから率直なご感想を多数お寄せいただきました。全体的な感想としては、大学の取り組みについて深く知ることができた点、および専門家・学生からの意見を聞くことができる点についてとくに評価していただきました。巡回SCの意義として、地域と大学のつながりづくりという点もあげられており、今後も継続して活動していくことを通して、より一層密な連携をとっていくことが期待されます。また、人事異動が活発な自治体においては、数年単位で開催するよりも毎年開催することも検討してほしい、というようなご要望も寄せられました。



意見交換の様子  
(令和4年9月26日・檜山振興局)



本学の取り組みを紹介の様子  
(令和4年11月7日・渡島総合振興局)

